



小学校中学年向け 年 組

(2023年11月23日付・下野新聞24面)

かんぴょうチップス開発

壬南犬飼中生

【壬生】南犬飼中2年生とあけぼの町のカフェ「ドラスルカフェ」はこのほど、「かんぴょうチップス」を共同開発した。給食で人気の「かんぴょうフライ」をヒントに生徒が考案した。同店オーナーの浅野裕子さんは「商品開発を通じて、自分たちで考えたことが実現する楽しさを子どもたちに知ってほしかった」と振り返る。(小野口愛梨)

ヒントは給食 町内カフェと協力
販売予定も



かんぴょうチップスを手に持ち、誇らしげな生徒ら



かんぴょうチップスに味付けをする生徒ら

町内の事業者らが同校で行う授業「クエストエデュケーション」の一環。子どもたちに将来の仕事を考えるきっかけにしてほしいと、同校が昨年度、独自に始めたカリキュラムで、15

設 問

【1】この記事の内容をかんたんにまとめた次の文の(ア)～(エ)にあてはまる言葉を書きましょう。

(ア) 中学校の2年生と、「(イ)」という名前のカフェが、「かんぴょうチップス」を共同で開発した。これは給食で人気の「(ウ)」をヒントに生徒が考えた。カフェのオーナーの方は、(エ)を通じて自分たちで考えたことがじつげんする楽しさを子どもたちに知ってほしかったと言っている。

【2】この中学校が、しょうらいの仕事を考えるきっかけにしてほしいと始めた授業の名前は、次のうちどれですか。

- ア 「カリキュラムエデュケーション」
イ 「クエストエデュケーション」
ウ 「かんぴょうエデュケーション」
エ 「総合的なエデュケーション」

【3】「かんぴょうチップス」のつくり方のじゅんじょをかんたんにまとめると、次のようになります。()にあてはまる文を考えて書きましょう。

- ①かんぴょうを()。→5cmほどに切って水気を取る→②()油で約7分あげる。→③塩こしょうやバターしょうゆなどで()。

の企業や団体の担当者が講師となり、総合的な学習の時間に不定期で授業を実施している。

浅野さんは講師の一人として2年生13人の授業を受け持ち、壬生ならではの土産作りに取り組んだ。生徒は6月ごろから検討を重ね「若い世代が喜ぶお土産は何か」と話し合った末、給食に出るかんぴょうフライが子どもたちに人気があることに着目した。

浅野さんと担当教諭も協力し、給食調理員やかんぴょう問屋などから作り方の情報を収集。ゆでた町産かんぴょうを5センチほどに切って水気を取った後、米粉をまぶして油で約7分揚げ、方法にたどり着いた。塩こしょうやバターしょうゆなどの味付けを加えた。

3日に道の駅みぶ内で行われた町総合産業まつりで、試験的に1パック15枚入りを200円で販売する予定。今後は試験販売で得た意見などを踏まえてレシピの改良を重ね、同店の自動販売機などで販売する予定。

【4】あなたの住んでいる市(町)の特産品は何ですか。食べ物とそうでないものを一つずつ書きましょう。わからない人は、何かで調べて書きましょう。

- ・食べ物→()
・食べ物でない物→()